口蓋垂に発現した類表皮嚢胞の1例

中島 健・喜久田利弘・藤本 誠一・原 巖
安光千昭・村木祐孝・瀬戸富雄
嶋村知記・山田長敬

A case of epidermoid cyst of the uvula

Takeshi NAKASHIMA・Toshihiro KIKUTA・Seiichi FUJIMOTO・Iwao HARA
Chiaki YASUMITSU・Yukou MURAKI・Tomio SETO
Tomoki SHIMAMURA・Nagayoshi YAMADA

Key words: epidermoid cyst (類表皮嚢胞), uvula (口蓋垂), etiology (成因)

緒 言

顎顔面口腔領域において類表皮嚢胞ならびに類表皮嚢胞は口底部やオトガイ下部に発現する頻度が高く、頬部、舌、耳下腺部などにも発現する。口蓋や口蓋垂に発生することは非常にまれである。今回われわれは、口蓋垂に発現した類表皮嚢胞の1例を経験したので若干の文献的考察を加えて報告する。

症 例

患 者：11か月 男児。

初 診：平成2年7月■日。

主 訴：口蓋垂の異常。

既往歴および家族歴：特記事項なし。

現病歴：1週間前にかぜのため某小児科医院受診。その際に口蓋垂部の異常を認め、紹介により当科入院となった。

現 症：口蓋垂先端部に直径約6 mmの白色、球形の腫瘤が認められた。嚥下障害は認められなかった(写真1)。

臨床診断：類表皮嚢胞。

手術ならびに経過：約1か月ほど外来にて経過を観察していたが変化がないため、当科入院のうえ、平成2年8月17日全身麻酔下にて嚢胞摘出術を行った。経過は良好で、現在まで再発や機能障害などの異常所見は認められない。

写真1 初診時口腔内写真

写真2 病理組織写真 ↓↓は嚢胞上皮、↑は口腔粘膜を示す。

九州歯科大学口腔外科学第1講座

(主任：山田長敬教授)

First Department of Oral Surgery, Kyushu Dental College (Chief: Prof. Nagayoshi Yamada)

受付日：平成3年6月10日

病理組織所見：嚢胞壁は角化した重層扁平上皮を呈しており、乳頭層はみられず平坦で、皮膚付属器官は認められなかった(写真2)。

病理診断：類表皮嚢胞。

表 口蓋垂に発現した類表皮嚢胞の報告例

症例	報告者	性別	年齢	罹病期間	部位	大きさ (cm)	臨床診断	病理診断
1	Ito ら (1966) ¹⁾	女	1歳4か月	1年	先端部	0.7×0.7×0.8	良性腫瘍	類表皮嚢胞
2	古賀ら (1983) ²⁾	男	4か月	数日	先端部	φ 0.7	嚢胞様腫瘍	類表皮嚢胞
3	Yoshinari ら (1986) ³⁾	女	1歳6か月	1年	基底部	0.6×0.4×0.4	脂肪腫	類表皮嚢胞
4	自験例	男	11か月	1週間	先端部	φ 0.6	類表皮嚢胞	類表皮嚢胞

考 察

類表皮（類皮）嚢胞は胎生期に組織が融合する正中部に多くみられ、口腔領域における本邦の報告例では約70%が口底部、オトガイ下部に発現している。他の発現部位として顎下部や頬部、舌、耳下腺⁴⁾、上唇、下顎骨などが報告されている。

口蓋垂における症例は本邦、欧米ともに非常にまれであり、その報告を表に示す。年齢は4か月より1歳6か月までで、すべて2歳以下に発現している。これは、小さな部位であり検診などにより比較的早期に気づきやすいことが考えられ、さらに可動性の強い部位であり成人するまでに自然脱落する可能性も考えられた。性別は男2例、女2例であり、大きさはすべて直径4～7mmと小さく、嚥下や発音などの機能障害は認められなかった。病理診断ではすべて類表皮嚢胞であった。

口蓋に発現した症例は、New⁵⁾、Green⁶⁾が軟口蓋において、中条ら⁷⁾が硬口蓋において報告しているのみであり、口蓋全体における類皮（類表皮）嚢胞も非常にまれである。これらの口蓋における類皮嚢胞の成因については、すべて正中線上に発現していることから、胎生期7週の終わりの口蓋突起癒合時における外胚葉組織の残遺、迷入が推測される。

結 語

われわれは、口蓋垂に発現した非常にまれな類表皮嚢胞の1例を経験したので報告した。

本論文の要旨は、第58回日本口腔外科学会九州地方部会（平成3年2月、福岡市）にて発表した。

引 用 文 献

- 1) Ito, H., Nakajima, T. et al.: Epidermoid cyst of the uvula. Report of a case. Jpn Stomatol Soc 15: 89-92 1966.
- 2) 古賀正章, 香月 武, 他: 口蓋垂の類表皮嚢胞 (抄). 日口蓋誌 8: 294 1983.
- 3) Yoshinari, M. and Nagayama, M.: Epidermoid cyst of the uvula. Report of case. J Oral Maxillofac Surg 44: 828-829 1986.
- 4) 中島 健, 喜久田利弘, 他: 比較的まれな部位に発現した類表皮嚢胞の3例. 一成因および文献的考察一. 九州歯会誌 45: 517-524 1991.
- 5) New, G.B. and Erich, J.B.: Dermoid cysts of the head and neck. Surg Gynecol Obstet 65: 48-55 1937.
- 6) Green, J.D. and Neal, C.L.: Dermoid cyst of the soft palate. South Med J 75: 1029 1982.
- 7) 中条康夫, 大西忠利, 他: 口蓋前部に現われた Dermoid cyst の1例. 歯科医学 31: 200-204 1968.